

[イベント部会ポスト \(padlet.com\)](https://padlet.com)

多くの補習校が取り組んでいる授業以外のイベント及びコンクール

- 書初め・硬筆競書
- 当地商工会議所新年会—高校生による年初の抱負スピーチ
- 年2回・漢字検定
- 各節句(お正月・節分・ひな祭り・端午・七夕等の季節行事、日本の文化紹介)

- 海外子女文芸作品コンクール(小中)
- 低学年のお買い物ごっこ
- 小学部の球技大会
- 中等部のタレントショー
- 地区の夏祭り—ボランティア
- 夏休み 夏休み日本語読書奨励及び青少年読書感想文コンクール

- 日本語大賞 <https://www.nihongokentei.jp/>

- 図書館を使った調べ学習コンクール <https://concours.toshokan.or.jp/>

- USA 各州管轄毎の領事館主催継承語弁論大会

- 全校生徒参加—学校文集の作成



イベント・全校取り組みのアイデア



世界とハモろう!! ハモリ合唱（小中高全学年）

個人で頑張った練習した歌が、素晴らしい合唱曲になることで、重ね合わせることの楽しさを知る。人数が少ない補習校も楽しめるイベント。

イベント実施概要

- 音楽の教科書から、合唱ができる歌（ソプラノ・アルトのある曲）を選び出し、それぞれのパートを練習。歌の部分だけを録音して、それをインターネットを通じて投稿。編集して、あたかも一緒に歌ったような合唱曲に仕上げる。
- 方法ーピアノの演奏と各パートの歌を録音したものを事前に参加補習校に配付。それを聞きながら各自練習し、最後にイヤホンで演奏を聞きながら、自分の歌声だけを携帯電話等を使って録音。
- 投稿されたものを編集し、添付のような形で仕上げる。（下記写真、クリックすると音が出ます。これはシカゴ補習校で、コロナ禍の最中、日本にお帰りになる教頭先生に向けて作成したもの）。



発案者・所属校 丸山 美江 シカゴ双葉会日本語学校補習校

手話で踊ろう！人気のJ-Pop Music（小中高全学年）

TikTokのおかげで日本のJ-Popは世界で歌われるようになった。そこでただ歌うだけでなく、手話をつけて、ダンスのように踊って歌うことで、日本語を楽しく覚えるきっかけを作る。

イベントに必要なもの

- 動画を撮ることができるデバイス。
- オンデマンドで交流
- 編集などができる生徒がいれば依頼。完成された作品があれば次へのモチベーションになる。



およその必要経費

- スマートフォンでできるので、経費はゼロ。

イベント実施概要

- 手話は文節ごとにその意味を表す手話サインがある。「あなた」はこの手話サイン、「好き」はこの手話サインなど、体を動かすことを伴いながら、日本語の単語や語順を覚えることができる。（体を動かしながらだと暗記がしやすいのは周知の事実）
- パリオリンピックにブレイキン（ブレイクダンス）の種目が追加されるが、実は手話はヒップホップ的な感じの体の動きなので、小さい子供からティーンエイジャーまで受け入れられやすいと思われる。
- 参考サイト

<https://www.youtube.com/watch?v=y-KFzumquU>

発案者・所属校 丸山 美江 シカゴ双葉会日本語学校補習校

漢字カルタ（全学年共通）

イベントの目的・目標:漢字学習に楽しく取り組み、定着を図る。

事前に準備しておく必要があるもの
学年に応じた漢字学習、学年に応じたカルタの
作成(授業内や共同作業でも可)

イベント当日に運営側が持参するもの
カルタの読み札・取り札

イベント当日に生徒さんが持参するもの
動きやすい服装

イベント当日に必要なスタッフ人数
読み上げる先生1名

およその必要経費
カルタ作成に関する費用

イベント実施概要

- ・漢字だけが書かれている面と漢字と絵が描かれている面があるカルタを作成する。熟語などを用いても良い。
- ・カルタの作成自体をクラスで取り組んだり、数校で手分けして取り組むこともできる。(参加校が多ければ多いほど負担が軽くなる)
- ・(各校が)作成したカルタを事前に共有し、それぞれでカルタを取る練習をしておく。
- ・当日は学年対応の漢字(1年生なら80字)の半分の枚数を自由に選び、自分の前に置く。
- ・読み手もカルタの半分の枚数を自由に選び、それを順番に読み上げ、選手たちは自分の選んだ取り札の中からカルタを取る。(目の前にない場合もある)
- ・読み手の選んだもの全てまたは制限時間で区切って一番多く札を取っている生徒さんの勝ち。

発案者・所属校 荻原綾・バトンルージュ

地域かるた全世界選手権（小中高全学年）

世界各地のそれぞれの補習校がある国または都市の特徴をかるたに落とし込んだ、生徒オリジナルのかるたを作成する。日本語を楽しく学べるほか、居住地の魅力を伝えることで自己肯定感を高めることにも。

事前に準備しておく必要があるもの

- ・かるたを作成する。文言や絵などのアイデア出しが必要。
- ・アプリを使用するならデバイスが必要になるし、対面での交流が可能なら、手作りのかるたを作成するののも一つの方法。大判のかるたを作成すれば、さらに盛り上がると思われる。



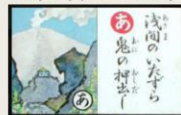
およその必要経費

- ・アクティブラーニングツールであるKARUTAを使用する際には、年間利用プラン最大限12セットで33,000円が必要。フリーのお試しセットもある。ファシリテーターとユーザーは無制限に登録可能。詳しくは実施概要にあるリンクで確認してください。

イベント実施概要

- ・かるたに落とし込むには、自分の住んでいる国や都市をもう一度見直したり、勉強しなおすことが必要(補習校でなかなかできない社会科の学習もできる。もちろん国語(日本語のリズム5・7調の楽しさ)や絵(コンピューターグラフィックや切り絵、ちぎり絵など、いろいろな図画工作の手法も教えることができる)。
- ・ネットを介してのかるた大会を開く。相手のかるたの内容を覚えることで、相手の国や都市の特徴を覚えることもできるし、交流もできる。
- ・KARUTAPなどのアプリを使用すれば、楽しく、また簡単にコミュニケーションが取れる。

<https://karutap.com/>



発案者・所属校 丸山 美江 シカゴ双葉会日本語学校補習校

カルタ作りとオンラインカルタ大会

イベントの目的・目標: 漢字の反復学習としてユーモラスで情諸豊かな思考で漢字を覚えていく。

事前に準備しておく必要があるもの カルタカードを募集（※カルタカードの作り方マニュアルを作成）、日程を決めオンラインカルタ大会の準備。	イベント実施概要 ◆カルタカードの募集 思わず「え！これ！笑」と思ってしまうような個性溢れた漢字カルタ作りを誘導作成。 ◆オンラインカルタ大会を実施するための準備 例）KARUTAPを利用。KARUTAPはオンライン上でかるた遊びができるアクティブラーニングツールです。 最大の特徴は、自分自身で「かるた」を作れること。 自分で「画像」「テキスト」「音声」を用意してかるたを作成することで、次のような感覚が養えます。 「画像」の登録 ⇒ 「描く」「見る」の感覚 「テキスト」の登録 ⇒ 「書く」「読む」の感覚 「音声」の登録 ⇒ 「聞く」「話す」の感覚 ◆自分で「画像」「テキスト」「音声」を用意するため、総合学習として効果的である。 発案者・所属校 イングバーリかこ ケルン補習校
イベント当日に運営側が持参するもの	
イベント当日に生徒さんが持参するもの PC、タブレット	
イベント当日に必要なスタッフ人数 オンラインカルタ大会スタッフ複数名	
およその必要経費 オンラインカルタを利用する場合は各種料金プランあり、例）https://online-karuta.geoglyph.net/	

オンライン運動会（全学年共通）

イベントの目的・目標:
日本語の指示に従い、体を動かす。他校の生徒とタイムを競うことで交流する。

事前に準備しておく必要があるもの プログラム、運動できる会場	イベント実施概要 - 他校の先生の日本語でも聞き取ることができ、それに対応して体を動かすことができるようになる。 - 準備体操、競技の説明、結果発表などで主にリスニング力を高める。 - 各校が1つか2つ競技を考案して事前に運営者同士で話し合い準備をしておき、当日は担当校の先生が参加者全員にオンラインで説明する。 【外競技】徒競走、借り物競争、二人三脚、リレー、卵スプーン競争、ビーンバグトス、バーラップバグレース 【中競技】風船割り、紙飛行機対戦、風船バレーボール、長文伝言ゲーム、ジェスチャーゲーム、ペットボトルボウリング - ジェスチャーゲームは画面越しで一定時間に何問正解できるかお互いで問題を出し合うこともできる。 発案者・所属校 荻原綾・バトンルージュ
イベント当日に運営側が持参するもの ゴールテープやラインマーカー（テープ）、タイマーなど競技に応じた必要物	
イベント当日に生徒さんが持参するもの 動きやすい服装、水分、やる気	
イベント当日に必要なスタッフ人数 参加人数と競技数に応じて先生方で手分け	
およその必要経費 会場費、物品費、スタッフへの謝礼（時給）	

補習校リモートオリンピック（リモリンピック）（小中高全学年）

オンライン運動会なので、住んでいる場所も学年も関係なく参加できる。国境を越えて体を動かすことでコミュニケーションしよう。

イベント実施概要

- リモリンピックに関しては、いろいろなインターネットで紹介されているが、詳しくは下記のURLを参考に。オンデマンド、ライブの両方で開催可能。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000019.000020633.html>

- 競技内容は公募して生徒に考えてもらうのもよい。例えば上記で紹介されているものの中で「ぐらぐらポージングバトル」というものがある。出題されるピクトグラムに合わせてポーズを作り、難易度を上げていながら挑戦し、競い合うのも面白い。



発案者・所属校 丸山 美江 シカゴ双葉会日本語学校補習校

補習校版ギネスワールドレコードに挑戦（小中高全学年）

様々な分野の面白世界一の記録を考えそれに挑戦する。一人で頑張るもよし、クラスの全員で挑戦するもよし。団結力を高めて世界レコード（補習校の）に挑戦！

イベント実施概要

- 世界中の補習校の生徒から、さまざまな記録をビデオ付きで申請してもらう。それらの分野の世界一が認定されたらそれを「補習校ギネスワールドレコード」として認定。毎年一回ギネスレコードブックを作成し（ネット上で）、記録までの道のりなどを紹介する。
- 様々な分野の記録というのは、例えば・・・
 - ✓ 寿限無早口記録（寿限無を何秒以内でいえるか）
 - ✓ けん玉連続記録（続けて何回できるかなど）
 - ✓ 連風記録（いくつまで連続で風を上げられるかその国特有のカイトでもOK）
 - ✓ 連続大縄跳び
- 自分たちで考えた面白ギネス記録も申請できる。アイデアで勝負し年一回のレコードブックに掲載されよう！
- 記録認定をする補習校ギネス委員会など組織作りが必要。



発案者・所属校 丸山 美江 シカゴ双葉会日本語学校補習校

校内イベント② 冬の体力測定大会（小中高全学年）

生徒会から発案された企画。外気の気温が低すぎて遊べないときなど、小学生たちが室内で楽しく過ごすにはどうしたらよいかという問いかけから生まれた。

イベント実施概要

- 団体戦ではなく個人で取り組む行事。それぞれが記録をとっておき、「去年の自分の記録を上回る」ことを目標に取り組む。何年間か書き込めるカードを作成しておき、記録を書いて保存。もちろんエクセルなどで管理しても。
- 種目は「握力」「反復横跳び」「長座体前屈」などスペースがなくてもできるもの。握力は握力計で測定するが、アメリカでは15ドルから20ドルで購入可能。
- そのほかの種目として「一分間お箸で豆つかみ競争」など、補習校ならではの測定種目も取り入れる。
- スペースがあれば「なわとび」を取り入れたいと生徒から要望あり。



ピクトグラムデザインコンテスト（小中高全学年）

東京オリンピックで改めて話題となったピクトグラム。児童・生徒がここにこんなピクトグラムがあったらト考えることで、いろいろな立場の人に自分を置き換えることができ、発見や気づきを促す学習にもなる。

イベント実施概要

- ピクトグラムとは、即時的、国際的にわかる伝達方法で、絵文字と絵言葉は単語と文と考えてよい。ピクトグラムは世界中で使われていて、世界中のどの補習校の生徒も街中で見ているはず。その意味や歴史を学習しながら、「こんなピクトグラムがあったらいいのに」というピクトグラムを自分でデザインする。
- 交流用に用意されたフォルダーに作成したピクトグラムを投稿。またはなぜこのピクトグラムをデザインするに至ったかを発表した動画などを投稿しても。
- コンテストなので、締め切りを決め、全世界投票で優秀作品を選ぶのもあり。
- 日本語が苦手な生徒もアイデアとデザインで勝負できる。



禁煙



イスラエルの公共スペースにおける8つの禁止事項



歩行者の横断に注意を促す標識、人物像には天使ないし悪魔を思わせる翼の落書きが加えられている



EU規格であるEN71に定められた、三歳未満の乳幼児には通さないとの注意表示



小便区・大便区
（上海万博会場内）

先生による出身地などの紹介（小中高）

イベントの目的・目標：教科書の内容にあった実際の具体的な経験談を聞き、理解を深める

事前に準備しておく必要があるもの
紹介してくださる先生の紹介の内容による
見せて紹介して下さる場合のみ

イベント当日に運営側が持参するもの
なし

イベント当日に生徒さんが持参するもの
なし

イベント当日に必要なスタッフ人数
クラスを担当している先生のみ

およその必要経費
なし

イベント実施概要

- ・話して下さる先生と打ち合わせをしておく。

補習校の先生の出身はさまざまなのでいろいろな生活体験が聞けるので、その土地ならではの小中高時代の経験の中から、教科書の内容に関連づけられるエピソードを聞いておく。教科書で扱う内容を伝え、例えば雪国での経験、雨の少ない地域での経験、歴史上の人物やできごとに関連した経験、単なる観光ではない訪問者が多い地域での経験など。

- ・授業の内容に合わせて教室で紹介していただく。
- ・生徒から質問があれば受けていただく。

発案者・所属校 米澤みどり（サンフランシスコ日本語補習授業校）

突撃！うちの学校のOB・OGさん

自分たちが通っている補習校の卒業生にインタビューすることで、日本語を勉強する意義やバイリンガルとしての強みを知る。また卒業生が学生時代に抱えていた悩みやその乗り越え方を共有することで、補習校へ通うモチベーションを高めることにも。

イベント実施概要

- ・補習校の卒業生に協力してもらい、現在の彼らの職業について語ってもらう。どうしてその職業を選んだのか、生きがいは何なのか、その職業に就くための道のりは？などインタビューし、記事を作ることで日本語力やコミュニケーション能力を高めていく。
- ・キャリア教育の一環として、また自分の将来を考えるときの視野を広げるためのツールとして共有のファイルを作成し、ストック。補習校の生徒たちが閲覧できるようにするといいいのではないかな。
- ・AG+のOB/OG部会が卒業生の名簿作成の構想があると聞いているので、その名簿を集めるときにインタビューリストにエントリーしていただき、それをもとに各補習校で協力を仰いでみるという手も。
- ・補習校のOB/OGさんだけでなく、各補習校で講演などをしていただく際に児童生徒のインタビュー時間を頂いて記事などに仕上げることもできると思われる。



小中学生の子どもたちが先生にインタビュー「何でその職業を選んだの？」と質問
制作・編集：東京大学 言語学部



◎ 長岡京市
中学生がレポートします。職...



オンライン講義「命の授業 ゴルゴ松本」

イベント目的、目標: 彼の熱血、感動講義「命の授業」を全世界の補習校の子ども、保護者にも聞いて、感じてもらいたいと企画提案いたしました。漢字を通して彼が伝える言霊が、「勇気、挑戦」を導き、強いては「人生、魂」までつながるこの講義、日本語のパワーに満ちた力を感じる素晴らしい出会いになるはずだと確信しております。

事前に準備しておく必要があるもの
◆所属事務所との交渉、講演準備。

イベント当日に運営側が持参するもの
◆特に無し

イベント当日に生徒さんが持参するもの
◆ネット環境、PC、タブレット等

イベント当日に必要なスタッフ人数
◆特に無し

およその必要経費

- ◆講義資金集め
ゴルゴ松本の講義料金は10万円から120万円。(ネット調べ)
- ◆資金調達方法
クラウドファンディングを利用し「購入型」「融資型」「寄付型」などの
色々な方法で資金を募る。

イベント実施概要



ゴルゴ松本
命の授業

漢字を通して言霊を感じる

屈折を味わったことがあるか？
自分にとっては補習校は何か、日本語を魂とまで感じたことはあるか？
「聞け！感じろ！」自分はどのように存在しているのかを！

名言集

◆「逃」は、しんのように逃し。そして、また時間をおいて、しんのように手ヘンに変えて
「挑」挑戦するんだ！

◆苦難、困難、災難など、「難」という言葉には避けたい言葉が多い。でも「無難」な人生なんて、他の人に比べて無難なだけで実際はありえない。あることが難しいから「有難い」と言うんだ。

◆口プラスとマイナスで「吐く」、そのマイナスをとると「吐う」と云う漢字になる。弱音を弱音を吐かなければ夢が叶う。

◆辛いと幸せ、遠い関係ではありません。辛に一本足すと「幸」。辛くても、何か一つ足すだけで幸せになれるんです。

発案者・所属校 イングバーりかこ ケルン補習校

漢字王は誰だ！（小中高全学年）

勉強法を共有することで、苦手意識をなくし、意欲を持たせるきっかけを作る。また勉強法を提供した生徒は自尊心を高めることにも。苦手だからこそ工夫が生まれるということにも気が付いて欲しい。

およその必要経費

無料アプリKahoot（カフト）



イベント実施概要

- 漢字を覚えるのは苦手という人に、各補習校で漢字を得意とする生徒にその勉強法を語ってもらう。第二の「うんこ漢字ドリル」のような面白いアイデアが眠っているかも！
- 各国の日本語が母国語ではないが日本語を上手にあやつる人々に、彼らの勉強法を公開してもらう。アメリカなら、日本語クラブの生徒がどのようにして日本語を覚えるのかインタビューをしてもいいかも。
- 創作漢字コンテスト
- ネットにて漢字王決定戦を行う。漢検の級でレベル分けをし、カフトを使いクイズ大会を行う。

本のコンシェルジュが選ぶ今週のおすすめ本

日本語を習得するには、本を好きになることが一番。面白い本を生徒たち自身がコンシェルジュとなって紹介するお勧め本を、ウィークリー・マガジンのようにネットで配信する。

イベント実施概要

- いろいろなジャンルで本を分け、いろいろな方法で紹介しあう「〇〇補習校が選ぶ、今週のおすすめ本」をネットで配信する。ボタン形式で世界中の補習校が週替わりでコンシェルジュとなる。
- マガジンの内容は、例えば、“猫好きさん集まれ！”のようなくりで、猫が活躍する絵本、物語などを生徒に推薦してもらうなどジャンル分けに工夫をして構成する。推薦の方法も、ビブリオバトル（下記）のようにその本を熱く語るビデオを作ったり、推薦本からインスパイアされ自分で描いた絵を投稿したり、感想文、心に刺さった一行など、いろいろな切り口で推薦方法を考える。
- マンガコーナーも常設し、マンガを熱く語ってもらう。“このマンガが映画化されたら、主人公は誰が演じる？”など、その理由も述べながらキャスティングするなどの切り口も面白い。



連歌で交流（小中高）

イベントの目的・目標:

事前に準備しておく必要があるものなし

イベント当日に運営側が持参するもの
長いテーブル（参加者が使う）

イベント当日に生徒さんが持参するもの
ノートや筆記用具

イベント当日に必要なスタッフ人数
・（選考者、司会、賞状に名前を記入する担当者など）

およその必要経費
・約60ドル？

イベント実施概要

・授業で連歌について説明し、楽しい例を出しておく。生徒にほかの学年・ほかの補習校と連歌で交流することを伝え、クラスで少し練習の時間をとる

・チームで参加する3~4人のメンバーを決める

・イベント当日は、学年対抗・補習校対抗にするのか、メンバーを混ぜて交流にするのかを決める。メンバーを混ぜる場合は、当日までに、ほかの学年・ほかの補習校のメンバーの名前を交換し、メンバーを混ぜたチームを作っておく

・選考者（先生？）を決める

・当日、2チームは向かい合わせに座り、選考者は最初の5文字を発表し、その後チーム内で続きを作る

・制限時間後に各チームは作品を発表し、長さや内容などを基準に選考、表彰する

発案者・所属校 米澤みどり（サンフランシスコ日本語補習授業校）



小学部・取り組みのアイデア



音読発表会（小学生）

イベントの目的・目標：音読は語彙力や漢字力を高め、楽しみながら学習を深めることができます。工夫しながら練習を重ねることで各人の達成感が増します。補習校では共通の教材を取り扱うことが多いので、他校との交流が無理なくできると思います。

事前に準備しておく必要があるもの
音読を通じて交流を行う相手校を決めておく。
児童は音読練習をして準備する。

イベント当日に運営側が持参するもの
教科書、通信手段

イベント当日に生徒さんが持参するもの
教科書

イベント当日に必要なスタッフ人数
児童と担任

およその必要経費
特に必要なし

イベント実施概要

- ・教科書の中から音読に適した教材を選ぶ。
例：おおきなかぶ(小1) スイミー(小2) キツツキの商売(小3) こんぎつね(小4) 大造じいさんとガン(小5) やまなし(小6)
- ・交流が可能な学年を他校と話し合う。
- ・音読練習を行う。音読に必要な工夫など児童と担任が話し合い作り上げていく。
- ・児童が役割を分担する。また、お面や挿入画を入れる(画用紙や黒板に書く)など、楽しく発表できる視覚的な工夫を模索する。
- ・本番は対面やオンラインでの発表が最適である。しかし、他校との時差などを考えると録画して視聴するのがより現実的である。
- ・録画を視聴した後、手紙やメール交換などを通して感想を伝えあふ。この催しは、補習校で学ぶ仲間同士が互いを尊重し、励まし合ったり、まだ知らないお友達と交流したりするきっかけを作る目的もある。発表後に投票による音読チャンピオンや賞状を作ってもよい。

発案者・所属校 山根恭子・デュッセルドルフ日本語補習校

しりとり大会（対象学年：小学生）

イベントの目的・目標：

しりとりは日本語習熟度に関わらず、楽しめるゲームです。学習意欲を高めながら語彙を増やします。

事前に準備しておく必要があるもの
・先生がしり通りのルールや必勝法について調べる
*参考サイト：<http://www.toshokan-nitkou.com/pdf/15/inoue.pdf>

イベント当日に運営側が持参するもの
・しり通りのルールを説明したり、細かなルールについてクラスで話すための資料
・しりとりで勝つために何をしたらいいかを考えるシート
・しりとり攻略シート
・辞書

イベント当日に生徒さんが持参するもの
・えんぴつ

イベント当日に必要なスタッフ人数
1人

およその必要経費

イベント実施概要

1. しり通りのルールの確認をする。細かなルールをみんなで決めます。
例：ディズニーランドなど固有名詞はどうするか。
例：きや、きゅ きょなどで終わる時は、次の人は何から始めていいのか
例：英語はいいのか スタンドアップなど、
例：うさぎの足、くまの足など複数の単語を合わせていいか
2. しりとりで勝つための戦略を考える。
例：“で”で始まる単語と終わる単語の数を増やすと勝ちやす
例：何で始まる単語が少ないか数えてみよう
3. 一回目のしりとりを実施
4. しりとり攻略シートを作成（“で”で始まる単語などを辞書を使って調べる）
5. 二回目のしりとりを実施

*関連読書「しりとりボクシング」新井けいこ 2022年夏の中学年向け推薦図書

発案者・所属校 リップ雅映子 ブルーミントン日本語補習校

ゴミ拾い（対象学年：低学年）

イベントの目的・目標:

日本ではゴミ拾いは地域の活動として比較的頻繁に行われており、ゴミ拾いは日本文化体験になります。また、ビンゴ作成によりひらがなやカタカナ学習につなげます。

事前に準備しておく必要があるもの

- ・授業にてゴミ拾いビンゴを作成する

イベント当日に運営側が持参するもの

- ・印刷されたゴミビンゴ用紙

イベント当日に生徒さんが持参するもの

- ・鉛筆、手袋やトング、袋

イベント当日に必要なスタッフ人数

危険なものを拾わないかチェックが必要なので、5人に1人くらいはスタッフがいたほうが理想

およその必要経費

ビンゴの景品を用意するならば景品の購入費用

イベント実施概要

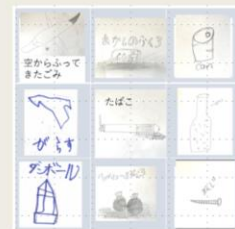
1, 授業時にゴミビンゴを作成する。

ビンゴのコマを児童に考えて書いてもらう。

2, イベント当日にゴミ拾いをしながら、ゴミビンゴを完成させる。

3, 景品を用意するかは自由ですが、ビンゴ景品があったほうが盛り上がります。

※小4の社会科のごみやリサイクル処理学習に関連付けても。



発案者・所属校 リップ雅映子 ブルーミントン日本語補習校

ご当地自慢大会(小学校高学年以上)

イベントの目的・目標:

現在自分の住んでいる地域の特徴や文化を調べ、まとめ、発表し合うことで交流する。

事前に準備しておく必要があるもの

地域の文化や特産品など、他の人に教えたい内容を調べ、日本語でまとめる。図や写真なども。

イベント当日に運営側が持参するもの

調べた内容をまとめたもの、発表する方法(PCやプロジェクターなど)、プレゼンテーションボードなど

イベント当日に生徒さんが持参するもの

自分で調べ、まとめた発表物

イベント当日に必要なスタッフ人数

各クラスの担任

およその必要経費

発表物作成に関する費用

イベント実施概要

・各地域の歴史、文化、特徴的な建築物、食べ物などを調べることで、地域への興味を促す。

・その中から、他の人に自慢したい・是非知ってもらいたい・自分が一番驚いたなど内容を選び、分かりやすくまとめる。

・図や写真、グラフなどを使い、視覚でも伝えられることに気をつけて発表物を作成する。

・まとめた内容を説明できるように文章を考える。

・イベント当日は作成した発表物を相手に見せながら、自分の考えた文章を読み上げる。

・発表を聞いた人からの質問にも答えられるようにしておけるとな良い。

・後日発表を聞いた相手からのフィードバックをもらう。

発案者・所属校 荻原綾・バトンルージュ

つないで、つないで、一つのおはなし（6年生）

イベントの目的・目標:本来はクラスメイト同士で文を繋げて文章を作り上げる課題。各校少人数クラスを集めて、みんなで一つのお話を作り上げる。

事前に準備しておく必要があるもの
参加者と人数を把握すること、教科書該当ページを読んでおくこと

イベント当日に運営側が持参するもの
教科書、連絡手段(Zoomなど)

イベント当日に生徒さんが持参するもの
教科書、ノート、筆記用具

イベント当日に必要なスタッフ人数
生徒および担任

およその必要経費
特になし

イベント実施概要

- ・事前に参加者人数を把握し、話を作る順番を決めておく。
- ・初めの一文と最後の一文を発表する。
- ・最初の参加校生徒が初めの分につづく文を考えて発表する。
- ・次の参加校生徒がそれにつづく文を考えて発表する。
- ・全ての参加校生徒がそれぞれ発表したら、最後の文に繋げる。
- ・全ての参加者が発表できるように順番に取り組む。
- ・自分が参加した発表の文章をメモに取り、文が完成したらノートに清書する。
- ・オンタイムではなく時差がある場合でも、掲示板やSNSのような媒体で取り組むこともできると思う。

発案者・所属校 荻原綾・バトンルージュ

クイズ大会（対象学年：小中学校）

イベントの目的・目標:

何か一つのテーマを設けてクイズを出し合う。問題と解答を作成する過程で、調べたりわかりやすく説明したり、日本語での表現を学べる。

事前に準備しておく必要があるもの

- ・クイズの作り方の教材を作る
- ・クイズと回答のフォーマットを作る
- ・クイズ正解数を記録できる用紙

イベント当日に運営側が持参するもの
・各フォーマット

・授業中にクイズを作成するならば、情報を調べるための書籍やipad

イベント当日に生徒さんが持参するもの
・自分が作成したクイズと回答解説

イベント当日に必要なスタッフ人数
1人

およその必要経費
景品を買う場合はその購入費用

イベント実施概要

1. クイズ大会のテーマを決める「おにぎり」「サッカー」「和菓子」など
2. 授業にてクイズのつくりかたを教え、クイズフォーマットと回答フォーマットを渡す。
3. 宿題でクイズの案を作ってきてもらう。
*授業中にクイズを作成するならばネットで調べられるipadや参考書物を用意
4. 教室を自由に歩き回ってもらい、互いに宿題で作ってきたクイズを出し、答えに関する解説を行う。
5. 難しかったクイズ、面白かったクイズ、小さい子にも出せるクイズ、大人にも出したいクイズなどを授業の最後に振り返りを行う。
*クイズに正解した数を記録できる用紙を用意して、正解が一番多かった生徒に景品をあげてもよい。
*オンラインをつなげば、他校とクイズを出し合う交流会にもなります。

発案者・所属校 リップ雅映子 ブルーミントン日本語補習校

校内イベント① “ことばの合唱”群読大会（小学校高学年から中学）

群読とは、単独の朗読や唱和を組み合わせることで芸術的に音声表現をするというもの。群読というほどではないが、小学・中学の国語の授業で、最終目標を学習を生かした朗読や音読を行うとして群読大会を開いたところ、意外に生徒たちから好評だったため校内イベントになるのではと考えた。

イベント実施概要

- ・ 小学校6年生「柿山伏」、中学校2年「平家物語」「走れメロス」など、生徒たちをグループ分けにして、朗読・群読の際に好きなように工夫を凝らしてよいとし、挑戦させる。
- ・ 今までの大会では、例えば柿山伏では寸劇などを取り入れたものがあった。柿の木に登るところを椅子に登って雰囲気を出してみたり、実際に山伏役の生徒を背負ってみたり。平家物語では、冒頭をなんちゃって琵琶法師の声色をして読む生徒、走れメロスでは自分の朗読の範囲を暗唱してクラスメイトを驚かせたり（英語が第一言語の生徒でした）といつもとは違う顔が見られて、生徒も先生も記憶に残る大会になる。
- ・ 録音、録画をするというと、真剣味も増し、取り組む姿勢が変わる。
- ・ 古典は内容の勉強もさることながら、読むことが面白いという生徒も以外に多い。例えば枕草子は暗唱をしたり、一斉読みやだけのご読みをしたりすると真剣に文字を追います。
- ・ 余談ですが、枕草子をギャル語に訳して読ませたことも。



中等部・取り組みのアイデア



オンライン フィットネス チャレンジ（中学生）

イベントの目的・目標： 他校とのバーチャル・フィジカル・トレーニング交流

事前に準備しておく必要があるもの
体育館にある既存の運動器具使用

イベント当日に運営側が持参するもの

同上

イベント当日に生徒さんが持参するもの

動きやすい服装で

イベント当日に必要なスタッフ人数 5名

およその必要経費
特に無し

イベント実施概要

生徒たちは、自宅や学校（ランチタイム・帰りの会利用、1ヶ月に1回程度）でオンラインのフィットネスチャレンジに参加し、運動や体力を競い合います。これらの活動をビデオで記録し、他補習校とシェアし、活動期間を“持続可能”させ、補習校ギネスを作る。

徳育・知育・体育の一環として

校内イベント③ タレントショー（中学生）

タレントとは才能という意味。日本語が第一言語の生徒は補習校の授業や行事は大変ではないが、第二言語の生徒にとっては困難な時もある。そんな生徒たちが、日ごろは見えない、見せられない数々の“タレント”を発表するのが年に一度のタレントショーである。シカゴ補習校では中学部の最大のイベントであり、数々のエピソードがある。

イベント実施概要

- 文化祭をイメージしてもらえばよい。クラスごとに1つの演目を行う。全員参加。過去には、合唱、自分たちで台本書きから照明などの裏方までを務める劇（10分）の上演をしたクラスも。ダンスやミュージカルというクラスもあった。教員はアドバイスをやる程度。連中時間としては、朝の会や昼休み、帰りの会で練習し、帰宅後に集合してということはない。
- 個人演目の部門も用意し、例えばピアノやバイオリンの演奏、ダンス、即興イラスト、手品、サッカーのリフティング、漫才などなど披露する生徒もいた。
- 映像や動画だけはなるべく避け、必ずライブパフォーマンスが入る事が条件。



グローバル・フードフェア（中学生）

イベントの目的・目標： 他補習校との交流を深める

事前に準備しておく必要があるもの
各家庭において食材・調味料用意

イベント当日に運営側が持参するもの
視聴機器一式・カメラ

イベント当日に生徒さんが持参するもの
プレゼン資料（料理実物は持参しない）

イベント当日に必要なスタッフ人数 2名程度

およその必要経費 食材費は各家庭負担

イベント実施概要

- 生徒たちは暮らしているお国の自慢料理を家で調理。

レシピ・作り方の注意点・各段階毎の写真（写真はせいぜい手元のみ、顔は写さない）と説明文を加えpower pointで仕上げる。生徒のプレゼンを録画、これをパートナー補習校に送る。質疑応答のメール交換期間を経て、今度はパートナー側のお国自慢料理をレシピをもとに再現する。その後、感想文を書き交換。

勘合貿易ごっこ（中高）

イベントの目的・目標： 勘合のしくみを理解し、貿易を始める過程を実感する

事前に準備しておく必要があるもの
明の勘合の原簿、貿易商が持つ勘合の証明書、
商品サンプル（漆器や扇子などのほか現代のもの）

イベント当日に運営側が持参するもの
なし

イベント当日に生徒さんが持参するもの
なし

イベント当日に必要なスタッフ人数
クラスを担当している先生のみ

およその必要経費
調達できるものだけでも可能

イベント実施概要

- ・授業で勘合貿易について説明する
- ・生徒の中で明の役人と日本の貿易商の担当を決める（全員をどちらかに決める）
- ・役人に勘合の原簿、貿易商に勘合の証明書（本物と偽物）と明に売りたい商品サンプルを渡す
- ・貿易商は役人に売りたい商品の紹介をし、役人は取引する商品を決めて、その貿易商が持っている証明書が本物かどうかを確認する

発案者・所属校 米澤みどり（サンフランシスコ日本語補習授業校）

番外編

後は作文嫌いの為のトリセツ ○○○○の取扱書ー自分を擬”物“法で中高以上に書かせる ↓
(例)

藤田○○の取り扱い説明書

【操作の前に】

1 安全上のご注意

まだ、ピチピチの12歳ですが、走ると、呼吸困難らしきものになりますので、絶対に絶対に絶対に、走らせないでください。また、虫やお化けなど、怖いものを見ると、こまぐが破れるくらいの悲鳴が聞こえるので、じゅうぶんに気をつけて、取り扱ってください。

2 付属品の確認

ゲーム&鏡&チョコレートが、必要です。（無いと動きません。）

【作動させる】

3 電源のオン・オフ

電源は、入れることが難しいですが、遅くとも7時には、自動的にオンになります。（多分）オフは、11時ごろです。（多分）

4 基本の操作

気分によって変わりますが、自分でも一応動けます。何かの指示を出すときは、優しく、ゆっくりと指示してください。出来ることもたくさんあるはずですが、虫をつかむなど、出来ないこともあります。

5 主な使い方

- ・6年生までの漢字なら、ほとんど書けます。
- ・悩み事を、聞いてくれます。
- ・集中する事がなぜか得意？？ですが、ひとつの事に集中すると、周りのことが全然見えなくなる性格なので、注意！
- ・たまに、ミニ知識を言い出す時があります。ですが、言っている時に話し掛けると、キレる場合があります。注意！
- ・アイデアを出すのが大好きです。

【お手入れ】

エネルギーは、寝ると自動的に補充されます。髪をサラサラにしていると、長持ちするはずです。優しく扱って下さいね！！

2. 作文指導の実例

3. 漢字指導の実例

4. まとめ